

■トイリアダプター

条件

①

台数

1系統あたりの台数は最大**20台**までです。(子機は40台までです。)

(1系統あたりの一斉放送を行う子機と天井スピーカーの設置台数算出について)

計算方法 一斉放送を行う子機台数 + (一斉放送を行う天井スピーカー台数 × 2) ≤ **40台** 以下

(例) 1系統あたり子機15台、天井スピーカー10台を設置する場合
15台 + (天井スピーカー10台 × 2) = 35台 ≤ 40台

条件

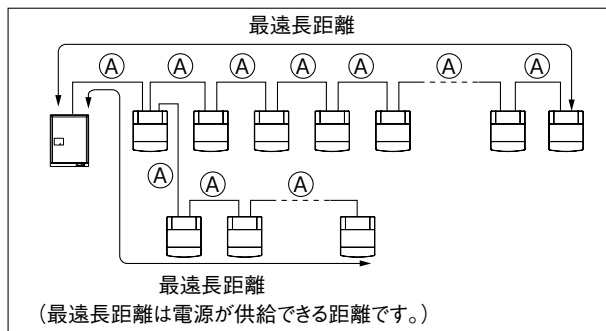
②

到達距離

最遠長距離は最長**200m**まで

総配線距離は**1000m**まで

範囲	到達距離
総配線距離(A)合計	1系統あたり1000m
最遠長距離	200m



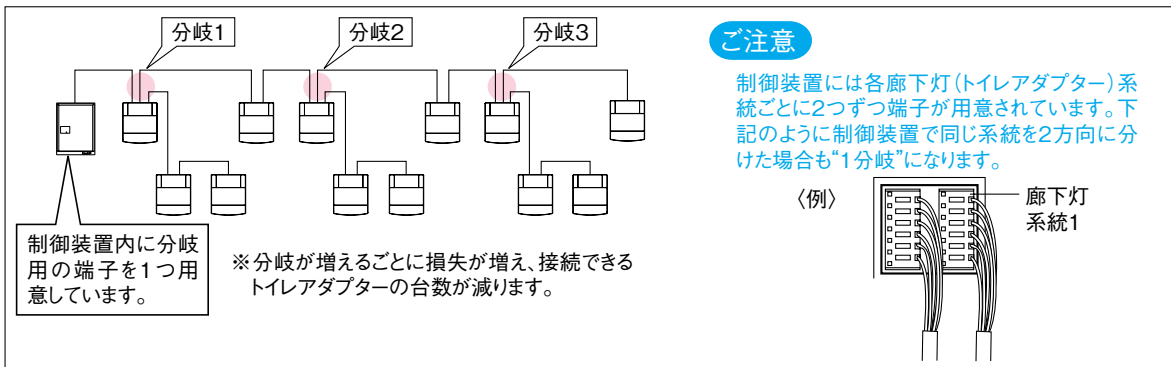
条件

③

分岐数

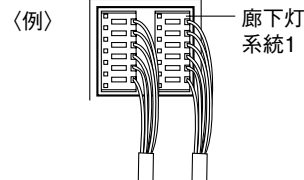
1系統あたりの分岐数は3分岐以内としてください。

分岐箇所から末端トイリアダプターの間が4m以上の場合“1分岐”になります。



ご注意

制御装置には各廊下灯(トイリアダプター)系統ごとに2つずつ端子が用意されています。下記のように制御装置で同じ系統を2方向に分けた場合も“1分岐”になります。



更に下記の計算式で出力損失を確認してください。

下記のように出力損失が37dBを超えないことを確認してください。

$$\begin{aligned}
 & \text{線路損失} \quad \text{トイリアダプター損失} \quad \text{分岐損失} \\
 & \boxed{\text{最遠長距離} \times 0.065\text{dB}} + \boxed{\text{台数} \times 1.0\text{dB}} + \boxed{\text{分岐数} \times 4.0\text{dB}} < 37\text{dB} \\
 & \quad (200\text{m以下}) \quad 1\text{mあたり} \quad (20\text{台以下}) \quad 1\text{台あたり} \quad 1\text{分岐} \quad \text{あたり} \quad \text{出力損失}
 \end{aligned}$$

